

「PCEA 使用患者に対する抗血小板薬・抗凝固薬注意喚起フロー実施によるインシデント発生予防効果」について

○ 研究の意義・目的

術後の鎮痛法の 1 つである硬膜外自己調節鎮痛法 (Patient Controlled Epidural Analgesia : PCEA) は硬膜外カテーテルを通して鎮痛薬を投与します。出血リスクのある薬剤を投与した状態で硬膜外カテーテルを抜去すると、硬膜外血腫という有害事象につながる危険性があります。この調査は PCEA を管理する術後疼痛管理チームと患者さんの主治医・担当看護師との出血リスクのある薬剤の情報共有の取り組みによる安全性向上への成果を評価することを目的とし広島大学学長の許可を受けています。この研究により、術後鎮痛管理中の抗血栓療法的安全性の向上が期待できると考えています。

○ 研究対象者

2017 年 4 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日までに、広島大学病院で術後鎮痛薬として PCEA を使用した患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、カルテ情報から、手術日、術式、既往歴、薬歴、開始指示の出された抗血小板作用または抗凝固作用のある薬剤の名称と指示開始後の転帰等を転記して行います (個人が特定出来る情報は転記しません)。また、患者さんにご負担は生じません。

○ 研究期間 倫理委員会承認後～2022 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

情報は匿名化して、外部接続のないパソコンでパスワードを付して保管・解析し、研究に使用したデータは研究終了 5 年後に完全に削除します。情報の管理責任者は広島大学病院薬剤部教授 松尾裕彰です。

○この研究に関して利益相反はありません。

○ 情報公開について

広島大学病院薬剤部ホームページにて研究の情報を公開しています。ご希望があれば研究計画書等の資料を公開いたしますので、下記連絡先にお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合は 2021 年 4 月 30 日までにお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰 (研究責任者)

薬剤師 小澤 智紀 (担当者)